

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 12		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 08.8396"					
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成30年 1月13日～平成30年 1月15日			東経	132° 17' 36.7848"				
調査業者名				主任技師				現代理人	コア鑑定者				
ボーリング責任者				現場				コア					
孔口標高	CDL	-1.30m	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試錐機	東邦D-1B58	ハンマー	半自動型
総掘進長	7.00m		度	0°	向	270°	鉛直	90°	エンジン	NS-110	ポンプ	東邦BG-3B	

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒	孔	標準貫入試験				原	試	採	室	掘
											度	10cm	打	N					
m	m	m	図	分	調	度	度	事	度	内	深	度	度	名	深	採	内	進	
										水位	度	度	度	及び	度	取	試	日	
										測定	0	10	20	30	40	50	60		
-2.20	0.90	0.90	礫混りシルト質砂	濃暗灰	非常に細かい			有機質なシルト分を含んだ細～粗粒砂。φ5～30mmの角礫・亜角礫と貝殻片(牡蠣)が混じる。		59	59								
-3.20	1.00	1.90	シルト混り砂	灰	非常に細かい			細～中粒砂。少量のシルト分を含む。φ5～20mmの亜角礫と貝殻片(牡蠣)が混じる。		13	6	1	4						
				淡灰	非常に細かい			細～粗粒のままもしくはφ3～5mmの風化した礫片状。深度2.60m付近まで淡灰色をなす。		6	7	10	23						
			強風化花崗岩	淡灰褐				φ1～2mmの石英・カリ長石が砂状や細礫状で残るもの。角閃石は細粒化が進行し微細砂状。		10	14	15	39						
										11	15	16	42						
			風化花崗岩	淡灰褐				軟岩I。中～粗粒のままもしくはφ3～8mmの風化した礫片状。所々、塊状で残るもの。指先で押えるとまさは礫片状に崩れる。		17	21	12	50						
								φ1～5mmの石英やカリ長石が残り、角閃石・雲母は微細砂状に細粒化が進む。		28	22	6	50						
										31	19	5	50						